

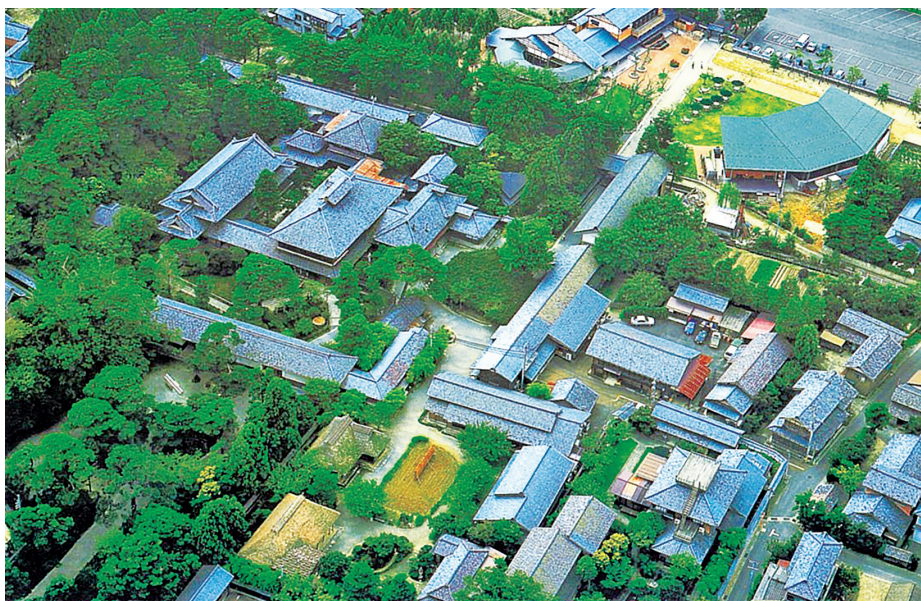


城下町新発田会報 あやめ

第 83 号
2025 年 6 月 30 日
発行
城下町新発田会
広報委員会
新発田会 検索

北方文化博物館 越後随一の豪農の館

空から見た北方文化博物館



北方文化博物館は、新潟市江南区沢海（そうみ）にある戦後初の私立博物館である。その創設に至る歴史は古く、江戸の中期に遡（さかのぼ）る。1746（延享3）年、農民であった初代伊藤文吉が20歳で分家した際に、親から譲り受けた2町1反の田畑が原点となる。その後、藍の商売、質屋の創業、倉庫業などの事業を重ね、当主（代々「文吉」を襲名）が引き継がれる毎に、財もまた拡大を続けた。5代目文吉の時代には8年の歳月を要して現在の伊藤邸が築かれた（明治22年）。

しかし、戦後の農地改革にあたって、7代目当主は「博物館をつくり、財産のすべてをこれに寄付する」という決断を下した。当時の進駐軍ラルフ・ライト中尉が、7代目文吉のペンシルバニア大学の後輩にあたるという運命的な出会い・交流も幸いし、「北方文化博物館」（昭和21年）として歩みを始め、徐々に博物館としての完成度を高めていく。

2000年には主屋をはじめとした主要建造物26件が国の登録有形文化財となっており、四季折々の庭園も見事。展示物においても優れた歴史的な書画・骨董とともに、日本海側の民族文化を実感できる品々など、多数が常設展示されている。

こうして280年の歴史をもつ伊藤家の遺構や収蔵物は、郷土新潟はもとより世界から訪れるお客様にその歴史と文化を伝え続けている。



江戸屋餅菓子舗

店：新潟県新発田市中央町3-8-9
Tel 0254-22-3942
定休日：火曜日 営業時間：9:30-18:00
工場：新潟県北蒲原郡聖籠町蓮潟 3397-1
Tel 0254-27-3390 Fax 0254-27-3356



JA北新潟 農産物直売所

営業時間：9:00～18:00 定休日：火曜日
冬季営業時間（12月～3月）：10:00～17:30
<http://shop.ja-kitaechigo.jp/>
JA北越後オンラインショップ 検索



王紋酒造

本社：新発田市本町 1-7-5
TEL:0254-22-2350/FAX:0254-23-6233

城下町新発田会総会・懇親会を開催

第24回城下町新発田会定時総会・懇親会が、5月24日（土）に上野・東京新潟県人会館2階ホールにて開催された。当日は来賓として、新発田市から伊藤純一副市長、高澤悟市民まちづくり支援課長、東京新潟県人会からは鈴木輝雄副会長、関西新潟県人会から小谷野達雄会長を招き、総数30名が出席した。

小野会長は、「この1年で中学・高校の同窓会との連携を始めた。また、地元新発田市の『郷土研究会』や『武庸会』（堀部安兵衛を顕彰する会）などに参加し、ネットワークの拡大を図っている」とし、

会員拡大の取組みについての報告があった。そして、今年も少しでも新発田市に貢献するため『新発田のものを、使おう・食べよう・飲もう』を提唱、併せてふるさと納税への協力も呼びかけた。

伊藤副市長は、日頃の協力に感謝を述べたあと、昨今の米の不足・高値問題に触れ、「新発田市で米は、ないことはないが、高いことは高い。ふるさと納税では、令和6年度産の米がまだ少しありますが、これも時間の問題。7年度産も業者によってはすでに先行予約が始まっている」と近況を述べた。また、6月の「あやめ祭り」に関連し、今年新発田市で全国あやめサミットが開催されること、8月には恒例の「城下町新発田まつり」が実施されるなど、今後新発田市が観光イベントで盛り上がるのが期待されている、と語った。

<ホームページに総会の動画をアップしました>



郷土研究会総会を開催



令和7年度新発田郷土研究会（石川富夫会長・会員数133名）の総会が4月12日（土）に新発田市生涯学習センター大ホールにおいて開催され、城下町新発田会からは小野会長、板倉敏郎さん、伊藤喜行さん、里村修平さんの4名が出席した。

同会は、昭和47年に市史・郷土史への興味・関心の高まりとともに発足した。講師を招いての郷土史講座の開催や史跡の見学などの活動をするとともに、毎年「新発田郷土誌」を刊行しており、今年は第53号（1,500円）が発行されている。

本年の総会では、終了後に「古代阿賀北の蝦夷（えみし）と城柵」をテーマに、坂井秀弥講師（新潟市歴史博物館長）による公開講座を開催、越後古代史に関する興味深い講演があった。

興味のある方は、ぜひこの研究会にご参加ください。（年会費3,000円）



くだもの生産直売
ぶどう、りんご、西洋梨、桃
果実加工

高橋農園
〒959-2506
新潟県新発田市横山149番地
直売所FAX兼用 0254-29-2287
E-mail kenta@muse.ocn.ne.jp

果物の地方発送
西洋梨ルレクヂエの贈答

土地・建物・売買・仲介
千葉県知事免許(13)第5435号

三光建設 株式会社

代表取締役 松川 吉男
TEL: 047-396-0161(代)
FAX: 047-396-0162
千葉県市川市富浜 1-6-20

大切な方への
贈り物にはお米を!

産地直送でお米・新潟県産コシヒカリの
お取り寄せならおの米店へ

おの米店
美味しいお米を販売
8:00 ~ 21:00

TEL 0254-25-2434
TEL 090-5197-8067

新発田市の名誉市民

新発田市には「名誉市民」制度があり、2名にその称号が授与されています。

◇ 名誉市民 **坪川 洵平** つばかわ かんぺい (1874-1958 84歳没)
昭和 27 年 4 月認定

坪川洵平氏は、日本の実業家、慈善家。

明治7年、北蒲原郡新発田本村外ヶ輪（現・新発田市城北町）に生まれる。新潟市の新潟商業学校（現・県立新潟商業高校）を卒業後、18歳で新発田出身の実業家大倉喜八郎を夢見て上京した。

活版所の見習工をはじめ苦難を経て、住友銀行の各支店に勤務、その手腕が認められ貿易商社の東洋商会に転職、西成製紙の再建を成し遂げると浪速製紙を設立、板紙業界の権威者として大阪財界で広く顔を知られた。

昭和5年には東京に移り、大森の金山製作所を外川製作所と改称し再建を進めた。外川は外ヶ輪に由来しており、新発田市出身者を多数工員として雇用した。

青年時代に、貧しくても努力によって偉業を成し遂げたジョージ・ピーボデーの伝記「貧児立志伝」（高橋光威訳・新発田市菅谷出身）に感銘を受け人生の指針とし、慈善活動家として社会に貢献する。

新発田市においては、町立図書館の寄贈、奨学助成金の提供、市庁舎の建設資金の融通、その他貧困産婦の救護事業など、多くの慈善事業も行っている。

昭和 19 年に実業の第一線を退き、故郷新発田町外ヶ輪裏に疎開し、戦後も新発田で隠居生活を送った。

昭和 27 年、新発田市議会は全会一致で洵平を名誉市民に推挙、名誉市民の称号が授与された。84 歳で亡くなったときには、図書館で市葬が執り行われた。



◇ 名誉市民 **天田昭次** あまた あきつぐ (1927-2013 85歳没)
平成15年7月認定

天田昭次氏は、刀工、人間国宝。

昭和2年、北浦原郡本田村（豊浦地区）生まれ。同じく刀工であった天田定吉の長男。小学校卒業とともに、作刀の世界に入る。鎌倉時代の刀を追求するうちに、材料である鉄から作り出すことを決意。以後、現代刀界で最も権威のある正宗賞を3度も受賞するなど、数々の名刀を製作してきた。平成9年には、重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されるとともに、豊浦町名誉町民の称号を受けた。平成15年に豊浦町と新発田市が合併し、新発田市名誉市民の称号を授与された。



手づくりの藍染め小物や
手描きローケット染めインテリア商品を
真心こめてお作りします

染色工芸藍染

泉屋染物店

〒957-0052
新潟県新発田市大手町1-7-2

電話 0254 (22) 3216
FAX 0254 (22) 1026
HP <http://izumiya-aisome.com/>



No

5

農事組合法人二王子

品 目




メロン、チンゲン菜

住 所

〒957-0347
大宇大友3836

TEL

(0254)25-3488 (事務所) メロン………10月中旬～2週間
(0254)25-2285 (代表者宅) チンゲン菜…1月下旬～2月下旬

その他

贈答用可



道の駅 加治川
MICHINO EKI KAJIKAWA

道の駅加治川
駅長 五月女奈緒美
〒959-2411 新発田市横岡 1147
TEL.0254-20-7393

TOPICS トピックス

「にいがた酒の陣 2025」開催

新潟県は酒どころ。県内 80 の酒蔵が一堂に会し、飲み比べを行う「酒の陣」が今年も 3 月 8 日・9 日の 2 日間、新潟市中央区のイベント会場「朱鷺メッセ」で開催され、県内外から約 18,000 名の日本酒ファンが集まりました。

この催しは、2004 年から開催されており、途中コロナ禍で中止の年もありましたが、ツアーが企画されるなど、大きなイベントに発展してきました。来年は、城下町新発田会でも参加したいところです。



新発田市議会議長に湯浅氏が就任

当会をご支援いただいている新発田市議会の議長に 5 月 22 日付けで湯浅佐太郎氏（新発田市松岡）が、同副議長に石山洋子氏（板山）が就任されました。さらなるご活躍をお祈りいたします。



湯浅議長



石山副議長

新入会員紹介

～よろしくお願いします～



前田茂雄 さん
(住吉町出身)



若月正廣 さん
(大栄町出身)



山鳥富己雄 さん
(紫雲寺町出身)

会員を募集中

城下町新発田会では、随時新規入会者を募集しています。新発田市にゆかりのある方にお声掛けをお願いいたします。入会希望の方がいましたら、松川幹事長（090-3133-9063）までご連絡ください。

年会費：3,000 円
郵便為替：00130 - 0 - 353560
加入者名：城下町新発田会

編集後記

今回の特集は、「北方文化博物館」を取り上げました。同館からたくさんの資料をお送りいただき感謝申し上げます。越後随一の豪農と謳われた伊藤家。所有田畑 1372 町歩、米蔵 58 ケ所、作徳米 3 万俵と伺っても想像もつきません。「豪農の館」、さらには歴代当主のコレクションなど、百聞は一見にしかず、観に行くしかありません。

結納、ご法事各種ご宴会・パーティにご利用下さい

〒957-0057 新発田市御幸町 1 丁目 1 の 1

刺土 志まや

電話 (0254) 22-2102 (代)
FAX (0254) 26-3430

ごままんじゅう ◆ くるみがんじき



手づくりの白い肌に風味豊かなごまの香りの「ごままんじゅう」。
もち、ごま、ごしあんの素朴な味をお楽しみ下さい。
「くるみがんじき」はくるみを水飴でつなぎ、海苔で巻いたお菓子。
加賀の食文化が新発田に入り、今では、地域に根ざした郷土菓子のひとつとなりました。

有限会社 和泉屋

〒957-0053 新発田市中央町 2-1-17
TEL (0254) 22-3289 FAX (0254) 22-3900
〈営〉9:00～18:30 〈休〉元日
※売り切れ次第、閉店 17:00 とさせていただきます。

国際認証取得圃場で栽培された「越後管谷産」の安心・安全なお米を生産・販売いたします



農地所有適格法人

有限会社 アグリ・システム

〒959-2517 新潟県新発田市麓 691 番地
TEL : 0254-29-2500 FAX : 0254-29-2131